

【専門教育科目/看護の展開/成人看護学】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
成人看護援助論 I		必修	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
堀口 まり子 他	410	mariko.horiguchi	水曜日 15:00~18:00		
授業の目的・概要	成人を中心として小児・高齢者等の生命の危機的状態にある対象とその家族に焦点をあて、生命の維持、苦痛の緩和、セルフケア能力の回復に向けた援助方法の修得を目的とする。授業は対面授業で行い、急性期看護に必要な基本知識(解剖学、病態生理学、心理社会学等)を基にした対象への治療および看護援助の考え方と方法を実践的な演習、DVD活用等のアクティブラーニングを活用し学習する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	成人看護学概論、成人看護援助論Ⅱで学修した知識と1年次および2年次の疾病治療論等の基礎知識が前提となるので、自己学習を自主的に行うこと。疑問点は、授業中やリアクションペーパーでの質疑応答で解決できるようにすること。				
教科書	経過別成人看護学②周術期看護(編:明石 恵子、寫田 理桂/メヂカルフレンド社(2021)) ①系統看護学講座別巻 臨床外科看護総論 第11版/医学書院 ②専門分野(2)成人看護学<2> 第15版 呼吸器(系統看護学講座)/医学書院 ③専門分野(2)成人看護学<3> 第15版 循環器(系統看護学講座)/医学書院 ④専門分野(2)成人看護学<5> 第15版 消化器(系統看護学講座)/医学書院 ⑤専門分野(2)成人看護学<7> 第15版 脳・神経(系統看護学講座)/医学書院 ⑥専門分野(2)成人看護学<8> 第15版 腎・泌尿器(系統看護学講座)/医学書院 ⑦専門分野(2)成人看護学<10> 第15版 運動器(系統看護学講座)/医学書院 [8冊指定]				
参考書					
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	生命の危機状態にある対象と家族の回復過程への看護について説明ができる。		HSU(1)(2) NS(1)(3)		
②	生命の危機的状態にある対象の治療、処置、検査について説明できる。		HSU(2) NS(3)		
③	治療(手術を含む)、処置、検査を受ける対象への看護を説明できる。		HSU(2) NS(3)		
④	生命の危機的状態を脱した対象と家族のセルフケアへの看護が説明できる。		HSU(3) NS(1)(2)(3)		
⑤	対象の社会的背景を踏まえ退院後のQOLの維持・向上の看護援助を理解できる。		HSU(1)(2) NS(1)(2)(3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	手術療法と周術期看護の役割	講義	事前課題: ①教科書 p 2~5 を読み手術療法の特徴と看護の役割についてまとめる。	1	
2	手術療法と周術期看護の基本 手術療法と生体反応の基本	講義	事前課題: 教科書 p 7~19 を読み重要な部分をまとめる。	1	
3	手術療法と周術期看護の基本 周術期にある患者・家族の特徴	講義	事前課題: 教科書 p 20~31 を読み重要な部分をまとめる。	1	
4	手術療法と周術期看護の基本 周術期看護の特徴	講義	事前課題: 教科書 p 31~43 を読み重要な部分をまとめる。	1	
5	周術期看護の基盤となる理論と看護展開 周術期看護における理論の活用/理論の概要	講義	事前課題: 教科書 p 45~55 を読み重要な部分をまとめる。	1	
6	周術期看護の基盤となる理論と看護展開 患者への理論の適応	講義 GW・発表	事前課題: 教科書 p 55~65 を読み重要な部分をまとめる。	1	
7	術前の患者・家族の看護 患者・家族の看護 手術に向けた準備	講義	事前課題: 教科書 p 69~93 を読み重要な部分をまとめる。	1	
8	術中の患者家族の看護 環境・役割・麻酔・手術室入室から退室まで 手術室における医療安全(認定看護師)	講義	事前課題: 教科書 p 95~139 を読み重要な部分をまとめる。 事後課題: 認定看護師の講義の学び	1	
9	術後の患者・家族の援助 情報収集・アセスメント、看護問題、 患者・家族へのケア	小テスト 講義	事前課題: 1~8講までのまとめを行う。 事前課題: 教科書 p 141~182 を読み重要な部分をまとめる。	1	
10	機能低下から早期回復と術後合併症対策			1	

【専門教育科目/看護の展開/成人看護学】

11	術後の患者・家族の援助 機能低下から早期回復と術後合併症対策 疼痛対策 感染対策 ドレーン管理	講義	事前課題: 教科書 p 141~201 を読み重要な部分をまとめる。	1
12				1
13	術後回復過程における患者・家族の看護 患者・家族の看護 回復過程における生活の調整	講義	事前課題: 教科書 p 203~221 を読み重要な部分をまとめる。	1
14				1
15				
16	術後ベッド準備及び管理 弾性ストッキング装着 創処置 ストーマケア 輸液管理 心電図十二誘導・呼吸音聴取	実技・演習	事前課題: 左記演習項目について、目的・方法・手順をまとめる。 事後課題: 実技演習を通しての学びと自己の課題をまとめる。	4
17				
18				
19	手術を受ける患者の看護(基礎疾患のある)	講義	事前課題: 教科書 p 447~475 を読み重要な部分をまとめる。	1
20	手術を受ける患者の看護(内視鏡下手術)	小テスト 講義	事前課題: 教科書 p 224~230 を読み重要な部分をまとめる。	1
21	手術を受ける患者の看護(循環器系)	講義	事前課題: 教科書 p 289~325 を読み重要な部分をまとめる。③教科書	1
22	手術を受ける患者の看護(消化器系)	講義	事前課題: 9~20講までのまとめを行う。事前課題: 教科書 p 327~371 を読み重要な部分をまとめる。	1
23	手術を受ける患者の看護(消化器系) 患者への理論の適応	講義 GW・発表	事前課題: ④教科書	1
24	手術を受ける患者の看護(脳・神経系、頸部)	講義	事前課題: 教科書 p 230~274 を読み重要な部分をまとめる。⑤教科書	1
25	手術を受ける患者の看護(性・生殖器系)	講義	事前課題: 教科書 p 388~416 を読み重要な部分をまとめる。	1
26	手術を受ける患者の看護(腎・泌尿器系)	講義	事前課題: 教科書 p 374~385 を読み重要な部分をまとめる。	1
27	手術を受ける患者の看護(腎・泌尿器系) 患者への理論の適応	講義 GW・発表	事前課題: ⑥教科書	1
28	手術を受ける患者の看護(呼吸器系)	講義	事前課題: 教科書 p 275~287 を読み重要な部分をまとめる。 ②教科書	1
29	手術を受ける患者の看護(運動器系)	講義	事前課題: 教科書 p 417~446 を読み重要な部分をまとめる。 ⑦教科書	1
30	手術を受ける患者の看護(高齢者・小児)	講義	事前課題: ①教科書 p 382~409 を読み重要な部分をまとめる。	1
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照			

【専門教育科目/看護の展開/成人看護学】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	10	0	10	10	100
総合力指標	知識・技術力	60	5	0	5	0	70
	思考・推論・創造する力	10	5	0	5	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	小テストおよび筆記試験により学習成果を評価する。				授業中に振り返りを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①	✓	15・16・17・18回の演習の事前課題は教員より提示する。実技演習後に提出したレポートを評価対象とする。				事前課題を踏まえて実技を行い助言する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	ノートにまとめた事前課題を評価する。 8回の認定看護師の授業からの学びを事後課題で評価する。 15・16・17・18回の実技・演習の学びと自己の課題を事後課題で評価する。				授業時に確認して助言する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
その他	①		GW・発表、実技・演習への参加姿勢が評価に影響する。				授業時に助言する。
	②						
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	小林 美雪、吉岡睦世						
教員の実務経験	科目責任者は、看護師として40年の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	実務経験のある教員の指導のもと、成人期の看護について理解を深める。 教員の経験から成人期の看護の実践事例を取り上げ、教科書と比較しながら学習する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・試験への教科書持ち込みは不可とする。 ・対面授業に際しては、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業への参加を認めません。 ・Teamsを使った同時双方向型授業を行う場合には、通信容量が無制限のWi-fi環境を推奨いたします。 ・新型コロナウイルス感染症の状況などの社会情勢により再度シラバスの変更があることも考えられますが、その際は随時、お知らせいたします。 						